

岐阜県地域学校協働活動事例報告書

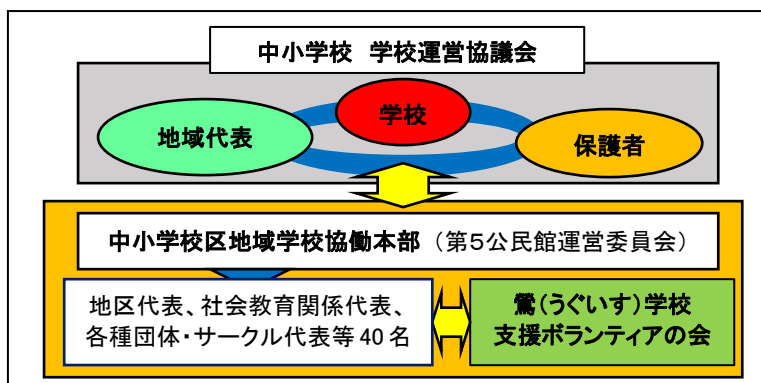
◆市町村名

大野町

◆本部名（類似の仕組みを含む）

なか
中小校区地域学校協働本部

◆組織図



◆推進員等人数

	有無	人数
地域学校協働活動推進員（委嘱有）	○	1
コーディネーター		
学習支援員	○	10
協働活動支援員		
協働活動サポーター	○	40
その他ボランティア	○	

◆活動の対象となる学校

大野町立中小学校

◆推進員等（コーディネーター）の立場・活動

- ・推進員は、原則として地域学校協働本部が置かれる公民館の主事に委嘱している。ただし、地域の実情から必要と認められる場合は、複数名の推進員を置けるよう規約に定めている。
- ・推進員は、地域の教育課題解決に必要な連絡調整、地域・学校の教育活動への支援、企画及び参加促進、学校・地域団体及び社会教育団体との連絡調整に関する活動を行う。

◆活動の内容

内容	実施	主な協力団体等	場所		
			授業内	授業外	地域
①学びによるまちづくり・地域課題学習・郷土学習（自然体験活動）	○	学校支援ボランティアの会、JA、竹中半兵衛顕彰会、里山の会等	○		
②地域の行事、ボランティア活動	○	学校支援ボランティアの会			○
③学校に対する協働活動（安全、防災、環境整備など）	○	学校支援ボランティアの会 PTA		○	○
④学習支援（地域未来塾、放課後子ども教室）					
⑤家庭教育支援活動					
⑥スポーツ・部活動支援					

◆活動保険

	有・無	料金	保険名
児童生徒	有	935円	<学校管理下>日本スポーツ振興センター災害共済 <学校管理外>同下
推進員・ボランティア等	有	—	公民館行事傷害補償保険

◆活動の工夫や効果

- ・令和元年度、町内の全小中学校をコミュニティスクールに指定、令和3年度には各小学校区に地域学校協働本部を設置し、連携・協働体制を構築している。
- ・地域学校協働本部は、新しい組織を作るのではなく、ひとつづくり・まちづくりの拠点である地区公民館に置き、住民による学校支援及び児童生徒の地域活動への参画など、双方向の活動の充実を目指している。
- ・中小校区の本部は第5公民館に置き、地区代表、各種団体代表等40名による運営委員で組織し、推進員には公民館主事（教員OB）を委嘱している。
- ・学習支援では、地域の自然、産業、歴史、クラブなどの講師として、公民館で活動している人やJAなどの団体・組織等、多くの協力が得られている。
- ・長年登下校の見守りを続けてきた老人会が高齢化のため活動が困難との声を受け、早速区長会が地域に働きかけて見守りの体制を整えるなど、課題解決に向けての本部内の動きがスムーズになっている。
- ・地域学校協働本部内に「鶯学校支援ボランティアの会」が発足し、校内の草刈りや地域学習の支援活動が一層充実してきた。コロナ禍のため中止となっていた地域での協働活動の充実が今後の課題である。



◆問い合わせ先

担当課・係	大野町教育委員会 生涯学習課
連絡先	(0585) 35-5379